



# 下久堅のたから

飯田市立下久堅小学校  
学校だより No.9  
令和4年11月21日

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> 文責:会津

## 北風葉を払う 小雪の候

### 人権教育月間での取り組み

各学級で「なかよし標語」を作りました。どれもその子なりの優しさや正義感を感じさせるものですが、今回特の一つを紹介します。

差別する それは自分が 無知だから (6年生)

「知」は単に「知識」ということだけでなく、違う相手の立場や考えを知ろうとする意欲や能力も含まれるのではないのでしょうか。学校の諸行事を通して協力する、優しい言葉をかけるといった心情を養えるようにしたいと考えます。

また、人権教育講話として、電動車いすサッカーで日本代表としてワールドカップに出場した龍江在住の方を講師としてお招きし、障がいをもってからのサッカーとの出会い、サッカーを生きがいとして充実した生活を送っているというお話をいただきました。電動車いすサッカーの実演を間近で見たりお話を聞いたりすることで、すべての人が夢と能力を生かせる社会を作ることの大切さを学びました。子どもからはたくさんの質問が出され、意欲的にお話を聞いていたことがうかがえました。



### 命をいただく

いつもおいしい給食を届けてくださる矢高調理場の栄養士さんと千代幻豚(ちよげんとん)の生産者さんに来校いただき、「命をいただく」という題名で、豚の飼育から出荷までのお話を5年生にさせていただきました。人の口に入るものだからという理由で薬品に頼らないこと、丹精込めて育てた豚に情が移りそうなので、出荷の際はあわただしく送り出すということを知った5年生。「ハンバーグの大きさの肉にも命が宿っていたことを覚えておいてほしい」という講師の方の言葉が印象的だったのか、振り返りに「野菜にも命がある。その命をありがたくいただく」、「感謝して、おいしく食べる」、「残さないようにしたい」などと書いた子どもが多かったです。

世界各地から手元に食材が届くまでを想像し、「命をいただく 私たちにできることは何か」を考えることで毎日の食卓の見方が変わるかもしれません。



### 陽だまりの中で

昭和時代の大スターの代表曲にも出てくる「小春日和」という言葉がふさわしい晴れた日、3年生が理科「太陽の光を調べよう」の観察で、鏡を手にグラウンドに出てきました。ひととおり観察が終わると「鏡よ鏡、鏡さん。世界で一番美しい人はだーれ？」などと友だちと楽しく遊び始め、別の子どもは「なぜなぜです。『のにぬねの』ってなーに？」と話しかけてきました。人懐っこい下久堅の子どもたちです。

4年生は社会科の学習で体育館脇の備蓄倉庫の中を見学していました。整然と積み重ねられた日用雑貨や食料を見て、いざという時は、学校そのものが地域全体の防災拠点となることを知りました。教頭が市の防災課の方と備蓄品を確認する以外、一般の方はほとんど中に入る機会はないのかもしれませんが、4年生は「これは何日、何人分だろう」と考えながら熱心に観察しつつ、メモをとっていました。日頃から防災への意識を高める必要があると感じました。

ちなみに、上のなぜなぜの答えは「長野」です。(「なにぬねの」の「な」が「の」になっているから)



# 12月の予定

- 3日(土) 飯伊小学校管楽器交歓演奏会
- 5日(月) 読書旬間(～16日)
- 6日(火) 児童会
- 7日(水) 読み聞かせ(全校) 地区児童会・一斉下校
- 8日(木) 保護者懇談会(～13日)
- 12日(月) スクールカウンセラー来校(午前)
- 14日(水) 保護者懇談会(6年生のみ)
- 15日(木) 紙漉き(1・3・5・6年)
- 16日(金) 紙漉き(1・3・5・6年)
- 19日(月) 学期末清掃(～23日)
- 20日(火) 児童会
- 26日(月) 2学期終業式
- 27日(火) 年末年始休業(～1月9日)

## 「結いの日」について 12月18日(日) (毎月第3日曜日)

飯田市をあげての取り組みとして「わが家の結いタイム」(家族と一緒に過ごししを通わせるひと時)という取組があります。

- ①みんなで話そう スイッチを切って
- ②ずくを出し みんなでお手伝い
- ③ひろげよう 親子の対話 読書から
- ④きもちよい 親子のふれあい あいさつからご家庭での取り組みをお願いします。

## お知らせ

### 「スクールカウンセラー相談日について」

来月のスクールカウンセラー来校日時は12月12日(月)の9:30～です。都合により、年度当初にお知らせした日から変更になりました。相談を希望される場合は、お気軽に教頭までお知らせください。

### 「来年度以降の運動会の方向性について」

先般実施した運動会について、アンケートを通して様々なご意見や感想をいただきました。運動会のような「体育的行事」には、保護者の皆様や地域の方に学習の成果や努力を見ていただくという「ハレの日」という意味もあると考えます。種目の数や内容については、多方面の意見や新型コロナウイルス感染症の動向を考慮しながら決定していきたいと考えています。

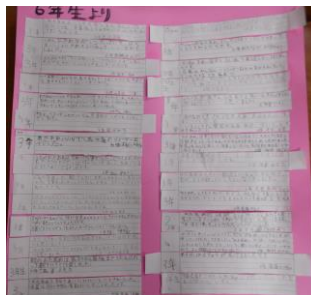
アンケートへのご協力、ありがとうございました。

## 行事後の風景から

音楽会の後、他のクラスの演奏についての感想を送っている子どもたちの姿がありました。「木琴が上手でした。」「はく力があって、よかったです。」「これからも金かんバンドのれんしゅうをがんばってください。」などの感想が寄せられました。特に高学年の演奏が下級生にとって大きな刺激となったようで、さらなる高い目標ができたようです。

マラソン大会でも、自分が走り終わった後に仲間の応援が自然にできる、そんな下久堅の子の心根の優しさを感じました。ここでも姿勢よく走ったり、後片づけを手伝ってくれたりする高学年の姿が印象的でした。

2つの行事を通して、越えられそうでなかなか越えられない、上級生としてのレベルを示してくれました。



下久堅小学校ホームページもご覧ください。

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> (携帯やスマホはこちらのQRコードより→)

